



三刀屋町内を流れる飯石川を指し、町内で三刀屋川に合流する。中流の雲見滝は見えたえがある。

飯石小川。源は郡家の正東一十二里なる佐久禮山より出て北に流れて三刀屋川に入る。鐵あり。



板谷川遺跡(頼原町志津見)で見つかった中世初頭の整型炉(たてがたる)



波多川 (掛合町波多付近)

飯石郡掛合町の波多川を指す。「鐵」は砂鉄のごとで、古代から製鉄が行われていたことを物語る。近年の調査で志津見ダム建設予定地内で炉の跡が発掘された。

波多小川。源は郡家の西南二十四里なる志許斐山より出て北に流れて須佐川に入る。鐵あり。



大馬木川 (仁多町馬木付近)

阿伊川。源は郡家の正南三十七里なる遊託山より出て北に流れて斐伊河の上に入る。年魚・麻須あり。



横田町・坂根ダム付近

横田町の仏山の東麓を流れ、室原川にはいる川と考えられる。

灰火小川。源は灰火山より出て、斐伊河の上に入る。年魚あり。



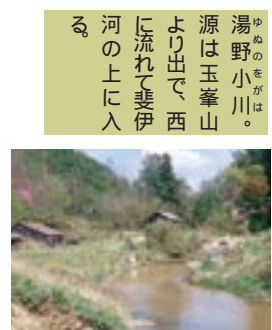
室原川 (横田町八川付近)

現在の室原川を指す。室原山(今の三國山)を源とし、横田で斐伊川に合流する。上流にはおろちループ橋がある。



仁多郡

室原川。源は郡家の東南三十六里なる室原山より出て北に流る。此は則ち斐伊大河の上なり。年魚・麻須・魴鱧等の類あり。



湯野小川 (湯野小川)



比田川 (広瀬町比田付近)

比田川。源は郡家の東南一十里なる玉峯山より出て北に流る。意宇郡の野城河の上。是なり。年魚あり。能義郡広瀬町西比田地区を流れる比田川を指す。下流は飯梨川(富田川)。



阿井川 (下阿井付近)

現在の阿井川を指す。御坂山は猿政山のごとで、吉田村で斐伊川に合流する。上流には可部屋集館、下流には阿井ダムがある。

現在の大馬木川を指すと考えられる。遊託山は馬帽子山のごとで、仁多町三成で斐伊川に合流する。

阿位川。源は郡家の西南五十里なる御坂山より出て、斐伊河の上に入る。年魚・麻須あり。

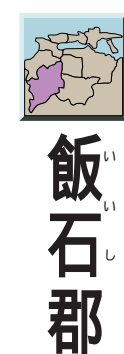
この湖と大海(日本海)の間の山は、現在の外圍町周辺にある砂丘で、当時も風の強いときには砂が飛んだといふ。近くでは古代の「貝塚」が見つかった(詳しくは四巻を参照)。なお神西湖から日本海にそそぐ差海川ができたのは、一六八六年で大槻七兵衛によるもの。



三刀屋川 (三刀屋川栗原付近)

現在の三刀屋川で、頼原・掛合・三刀屋町内をほぼ国道五四号線沿いに流れ、斐伊川に合流する。源の多加山は、頼原町と広島県の境にある大万木山。

三刀屋川。源は郡家の正東一十五里なる多加山より出て北に流れて斐伊河に入る。年魚あり。



飯石郡



現在の神西湖 (上空より撮影)

出雲市乙立町より上流の神戸川を指す。飯石郡赤来町では、現在来島ダムが造られ、周辺は自然休養村センター・湖畔キャンピング場などが整備されている。

盤組川。源は郡家の西南七十里なる箭山より出て北に流れて須佐川に入る。年魚あり。

赤川の上流で、大東町須賀地区を流れる須賀川を指す。須賀山は、八雲村との境にある八雲山の川。



須賀小川。源は須賀山より出て西に流る。年魚少くあり。



刈畑川 (大東町刈畑付近)

大東町刈畑地区を流れる現在の刈畑川から、その下流の赤川を指す。赤川は大東町・加茂町を潤し、斐伊川に合流する。



大原郡

仁多町の亀高川を指す。「湯野」という名のごとあり、この川の上流の亀高温泉は鉱泉がわき、一九七六年に養護老人ホーム「玉峰苑」がオープンした。近くには玉峰山森林公園もある。

海潮川。源は意宇と大原との二郡の界なる笑村山より出て北に流れ、海潮より西に流る。年魚少くあり。

大東町の西部を南へ流れ、赤川に合流する幡屋川を指す。JR木次線幡屋駅近くには、旧郡家(当時の役所)跡があると考えられている。

幡屋小川。源は郡家の東北なる幡屋山より出て南に流る。魚なし。水四水合ひて、西に流れて出雲大川に入る。

大東町の西部を南へ流れ、赤川に合流する奥田川を指す。同町西阿用・佐世地区を北に流れ、赤川に合流する。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。



奥田川

大原郡加茂町三代地区を流れる奥田川を指す。



幡屋川 (赤川に合流する付近)

幡屋小川。源は郡家の東北なる幡屋山より出て南に流る。魚なし。水四水合ひて、西に流れて出雲大川に入る。



佐世川 (大東町狩場橋から大東町西阿用付近)

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。



赤名川 (赤来町上赤名付近)

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。

赤来町と広島県の境の三國山の北にある箭山から流れ出て、来島に至る間の神戸川を指し、赤名川とも言う。国道五四号線に沿ってほぼ北に流れている。



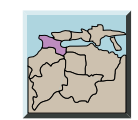
池については「土負池」「須々比池」「西門江」「大方江」を記す。いずれも今の斐川町あたりにあった池や、入江を指すと考えられる。



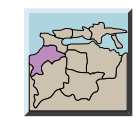
近江川 (平田市唐川町付近)

平田市西部の近江川を指し、唐川とも言う。弥山の北を源とし、唐川町を東北に流れ、河下町で鱒淵寺川と合流して日本海にそそぐ。

意保美小川。源は出雲御崎山より出て北に流れて大海に入る。年魚少々あり。



出雲郡



神門郡

現在の神戸川を指す。飯石郡頼原町の琴引山から流れ出て、飯石郡・簸川郡・出雲市を潤す。出雲部では二番目に長い川。当時は神門水海現在の神西湖のあたりにはあったのち日本海に通じていた。「門立村」の「門立」は、立久患峡の絶壁が門が立ったようにそびえているために名づけられたもので、ここから「立」の名ができたと考えられる。流域の立久患峡県立自然公園では雄大な自然が楽しめる。

神門川。源は飯石郡の琴引山より出て北に流れ、即ち来島・波多・須佐の三郷を経て、神門郡の餘戸里門立村に出て、即ち神戸・朝山・古志等の三郷を経て、西に流れて水海に入る。則ち年魚・鮭・麻須・伊具比あり。

多伎小川。源は郡家の西南三十三里なる多岐々山より出て北西に流れて大海に入る。年魚あり。

簸川郡多伎町の西部を流れる田儀川を指す。



田儀川 (多伎町口田儀付近)

出雲市古志町にはこの池の堤防の一部が現存し、当時の池の大きなをしのばせる。標識もある。ほかに「来食池」「笠柄池」「刺屋池」が記されている。いずれも出雲市にあったと考えられる。

宇加池。周り三里六十歩あり。

出雲市古志町にはこの池の堤防の一部が現存し、当時の池の大きなをしのばせる。標識もある。ほかに「来食池」「笠柄池」「刺屋池」が記されている。いずれも出雲市にあったと考えられる。